あなたのレポーター The Aquaculture

育てる漁業

平成17年7月1日 NO.386

発行所/ 製北海道栽培漁業振興公社 発行人/ 杉森 隆

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 (北海道第二水産ビル4階)

TEL (011) 271-7731/FAX (011) 271-1606 ホームページ http://www.saibai.or.jp



日本海へ ニシン稚魚の旅立ち

厚田村古潭漁港沖で6月1日、約70mmに成長した ニシンの稚魚32万1千尾が日本海地域のトップを 切って放流されました。

ニシンの稚魚は2月8日に厚田産親魚から採卵されたもので、5月10日と11日、羽幌センターから合計32万5千尾の配付を受け、古潭漁港内に設置された生け簀4基で中間育成されていました。収容時の平均全長は56.3mmでした。

午後1時、集まった10数人の漁業者と指導所職員らの手で作業が行われました。1隻の船で2基ずつ生け簀ごと沖に牽引して稚魚を放流しました。

CONTENTS 目次

漁業士発アクアカルチャーロード	2
いぶり噴火湾漁協指導漁業士 岩田廣美さ	٠ ا
平成17年度通常総会 ······3 ~	~ 7
事業実施計画	
アクア母ちゃん☆いぶり噴火湾漁協虻田女性部長・	8
浜のお買い物☆ 石狩湾漁協 石狩朝市········	8

漁業士発CULTUPがアクアカルチャーロード

迷ったときは 初心に帰れ

いぶり噴火湾漁協指導漁業士の岩田 園美さんが伊達で営んでいる主な 漁業は、ホタテガイ養殖、ホタテガイ イ桁網、定置などです。

岩田さんは「漁業士なんて柄じゃない。人に教えるどころか、自分の事で精一杯、毎年一年生だ」と肩をすぼめます。この2年ほど、あまり良いホタテ稚貝がつくれず、試行錯誤の毎日だそうです。

「自分はプライドを持って、これなら間違いないと思って今までやってきたが、ここ2、3年はパッとしない。毎年毎年、海が変わる。海の条件が悪くなってきて貝がついていけなくなっている。これまでのやり方をどういう風に変えていくか、考えていかないとならない」

良い貝は良い稚貝から

養殖ホタテの水揚げ時期となる冬場の1、2月、伊達支所の前浜はシケ早く、海に出られる回数が他地区に比べて少なく、岩田さんの住む黄金地区は特にシケが多いといいます。

「大量につくっても揚げてこられ ない。伊達では大きい良い貝をつく って値段を取るようにしている」

耳吊りが始まる前には、養殖部会 を開いて話し合います。

「小さなものは使わず、大きな稚 貝を下げる。良い貝は稚貝の段階か ら決まる。吟味して稚貝をとって、 早く入れ替えして少しでも大きくし ないと良い貝はできない、とオレは そう思う!

だけど、良い物をつくっても現実 は質より量、そういう世の中だ、と 岩田さんは嘆きます。

量より質を目指して

「努力したら努力が報われるような価格形成にしてもらいたい。良い物をつくってもキロ数円も違わない。去年みたいに品物が無くなれば、貝であれば何でも高く売れる。努力してもしなくても一緒だ。だったら量さえつくれば何でも良いんだべとなる。だけど、オレたちはポリシーを持っていい貝をつくっている」

規模が大きくなり、機械化が進み、 いつの間にか貝は品物になってしま いました。

「昔の人は、迷ったら初心に帰れと言ったが、その教えは正しいと思う。貝はもちろん生き物なんだけど、初めの頃はほんとに生き物を扱うように大事にしていた。これだけ大量になってしまったら、全部手作業ってわけにいかないが、ここは機械、ここは手作業って考えながら、初心に帰って、丁寧に扱うように心がけている。あとは吊るした貝が目減りしないで育つ事を祈るしかないな」



いぶり噴火湾漁協指導漁業士 岩田 廣美さん

現在、道の「えりも以西海域栽培 漁業拠点センター」の建設が伊達市 で進められています。

えりも以西海域では、1991年からマツカワの人工種苗放流を行っています。センター完成後は、100万尾の放流体制となります。

「マツカワへの期待度は高い。全然いなかったマツカワが放流を始めてから2、3尾は定置に乗るようになった。たくさん放流すれば日本海のヒラメのように増えるんじゃないかな。ただ、それには遊漁船への規制をきちんとしていかないと増えるもんも増えない」

遊漁者にも協力を

伊達市には遊漁船組合がありますが、外から来る船の方が圧倒的に多く、荷揚げのじゃまをされるなどマナーも悪いといいます。

「今は漁師の数より遊漁者の方が多い。釣られる数も半端じゃない。放流稚魚は餌付けされているから簡単に釣られてしまう。小さな物は放してくれるよう徹底しないと効果は上がらない。遊漁者とどううまく共存していくか、その課題は今後ますます重要になってくると思うよ」

平成17年度 通常総会開催

本公社の平成17年度通常総会が6月24日、札幌の 第二水産ビルで開催されました。

今井鐡男ウトロ漁協組合長を議長に、提出議案7項目(1.平成16年度事業報告及び収支決算について、2.平成17年度事業計画及び収支予算の設定について、3.平成17年度会費の賦課について、4.役員の報酬について、5.借入金の最高限度について、6.役員の退任慰労金について、7.役員の補欠選任について)が各々審議され、全議案とも満場一致で原案通り承認、可決されました。

なお、役員の補欠選任では、田島順逸利尻町長と 谷川弘一郎浦河町長が選任されました。



杉森隆会長あいさつ



平成17年度通常総会の開催 にあたり、ひとこと、ご挨拶を 申し上げます。

皆様方には、昨日の全道漁協 組合長会議をはじめとして、系 統及び関係団体の総会に引き続 きご出席をいただき、誠にあり

がとうございます。また、道水産林務部からは、小 島参事のご臨席をいただきましたことに、厚くお礼 を申し上げます。

さて、昨日の全道漁協組合長会議では、WTO・F TO等水産物輸入対策の特別決議をはじめ、漁業経営 安定対策、資源増大・資源管理対策の抜本的強化等が 決議され、依然として、本道の水産業が厳しい現状に 立たされていることを痛感しますとともに、全道の漁 協と沿海市町村を会員とします公社の果すべき役割と その責務をしっかりと受けとめ、栽培漁業の推進と漁 場環境の保全に向けて、より一層の努力をしていかな ければならないと、肝に銘じたところであります。

本日の総会でご審議をいただきます内容については、後ほど説明をいたさせますが、私から、平成16年度の事業結果と17年度の事業計画の概要について申し上げます。

まず、平成16年度の事業結果でありますが、ヒラメなどの種苗生産事業や指導事業などは、概ね順調に終了するとともに、調査設計事業の受注額が当初計画の6億9千万円を大幅に上回る8億円となったことから、当初予算の1千6百万円の赤字から3千3百万円の黒字決算となりました。これも、浜の皆様

のご支援と職員一同の努力の賜物と感謝していると ころであります。

次に、平成17年度の事業計画と収支予算でありますが、現在までの事業の実施状況について申し上げますと、ニシンの種苗生産につきましては、計画の180万尾を大幅に上回る230万尾を生産し、各地の中間育成施設への配付を終え、また、ヒラメ、クロソイの種苗生産につきましては、仔魚の飼育段階に入り、アワビ、ウニにつきましても、当初計画に沿って順調に飼育を進めております。

次に、収支予算でありますが、栽培漁業基金の運用については、北海道銀行優先株の7億4千万円の増額と有価証券15億円の購入を進め、今年度の運用益は約9千万円が見込まれます。また、会計別の収支を見ますと、前年度に引き続き、一般会計のほか、アワビ、ウニ会計も赤字経営を強いられており、残念ながら公社全体で約3百万円の赤字予算となっていますが、調査設計事業の受注の拡大や経費の節減をさらに図って、対処してまいる所存でありますので、会員皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと考えております。

なお、道水産林務部は、昨年から、エリモ以西海域のマツカワの種苗生産を担う拠点センターの建設に着手し、今年度完成となりますことから、公社としても、すでに担当職員を配置し、その準備を進めておりますことを、ご報告します。

本日の議案は、「平成16年度事業報告及び収支決算」など7件でありますが、十分なご審議を賜りますことをお願い申し上げますとともに、ご出席の皆様方のご健勝と大漁をご祈念いたしまして、平成17年度の通常総会のご挨拶といたします。



(社)北海道栽培漁業振興公社の平成17年度事業計画が通常 総会で承認されましたので、その内容を紙面上で紹介します。

1 栽培漁業指導事業

(1) 研修指導事業

栽培漁業の推進を図るために、栽培漁業に関する知識、技術の普及と指導を目的とした研修会を、水産技術普及指導所の支援を得て、道内各地において開催するとともに、会員等が行う研修事業の実施に協力します。

また、本道における栽培漁業に関する今日的問題 について、全道の関係者を対象に「育てる漁業研究 会」を札幌市において開催します。



研修事業計画

	実 施 時 期	開催地
「漁業生産技術研修会」	平成17年9月	奥尻町
「育てる漁業研究会」	平成18年1月20日	札幌市

(2) 広報事業

ア 機関紙「育てる漁業」の発行

栽培漁業に係る事業、試験研究、施設及び資料等の紹介、解説等を掲載した機関紙「育てる漁業」を、毎月発行、配布します。



イ 北海道沿岸漁場海況速報事業

栽培漁業推進上の基礎資料とするため、道内の沿岸漁場47か所において毎日観測した水温を、旬ごとにまとめるとともに、過去10年の同旬平均水温を併記して速報するほか、年間の水温、気象をまとめて刊行、配付します。

この全道を網羅した日々の観測データは、道内唯 一のもので、広く有効に活用されているため、観測 従事者の協力を得て今後も継続します。

また、本年度は本事業を開始して35年に当たるため、沿岸漁場海況速報35周年記念事業を実施します。

ウ 種苗生産事業報告書の発行

公社が行っているヒラメ、ニシン、クロソイ、ウニ、アワビの種苗生産について、平成16年度事業の経過及び実績をとりまとめて発行、情報交換文献として全国の関係機関に配付します。

(3)漁業技術研究支援事業

漁村青少年グループ等が行う、栽培漁業に関する研究実践活動のうち、その実効が期待されるものに対し、所要経費の一部(1件50万円以内、実施期間

3か年以内)を助成するとともに必要に応じ技術的 な協力も行います。

また、地域の漁業振興に係わる取り組みのより一層の活性化を図るため、栽培漁業の推進に関連する新しい取り組みに対しても支援します。

漁業技術研究支援事業計画

研 究 課 題	事業実施団体名
マツカワブランド化推進事業	えりも以西栽培漁業振 興推進協議会
人工リーフを利用したウ 二人工種苗放流試験事業	苫小牧漁業協同組合青 年部
カレイ種苗生産試験	紋別漁業協同組合青年部
ハタハタの種苗生産・中 間育成試験事業	留萌中部ハタハタ研究会
資源管理型ナマコ潜水器 漁業操業モデル構築試験	ひやま漁業協同組合江 差潜水部会
シラウオ漁獲調査	大樹漁業協同組合青年部
ナマコ天然採苗試験	砂原漁業協同組合青年部
合計 7課題	7団体



(4)技術開発試験調査事業

マナマコ種苗生産の要望に対応し、関係機関の支援を得ながら着底稚仔の大量確保・育成の技術開発 試験を行います。

2 日本海 ニシン種苗生産委託事業

道は、日本海地域の漁業振興対策の一環としてニシン資源増大に力を入れることとし、平成8年度から13年度までの6か年を第一期、平成14年度から

19年度までの6か年を第二期として事業を推進してきました。

本年度は、石狩管内、留萌管内の沿岸で漁獲された親魚から採卵し、45mm種苗を180万尾生産し、後志、石狩、留萌、宗谷管内の各地先から放流する計画です。

公社は、道から委託を受け、羽幌センターで45mm 種苗を180万尾生産し、うち150万尾を各地区協議 会等に中間育成用として配付し、試験用として30万 尾を60mmサイズまで中間育成します。



3 栽培漁業推進事業

(1) ヒラメ種苗生産事業

餌料培養、採卵、ふ化仔魚飼育、分槽選別の過程を経て、ヒラメ30mm種苗296万尾を生産し、そのうち37万7千尾を3か所の民間中間育成施設へ配付します。

残りの258万3千尾は羽幌、瀬棚両センターにおいて放流サイズの80mmまで中間育成し、3か所の民間施設と合わせて220万尾を放流します。

このほか、標識調査用として150mmサイズの種苗 4千尾を放流します。

(2)マツカワ種苗生産事業

平成18年度からの種苗生産事業に向けて、採卵用 親魚を今年12月から育成管理するとともに、事業に 係わる関係機関との連携・協力体制を整備します。

ヒラメ種苗生産計画

北海道栽培漁業羽幌センター

〔30mm種苗〕 〔中間育成〕

北海道栽培漁業瀬棚センター

(110万尾放流体制)

〔放流80mm〕

(110万尾放流体制)

〔放流80mm〕

羽幌センター — 羽幌センター 133万尾 - 100万尾

〔中間育成〕 瀬棚センター - 瀬棚センター 125.3万尾 - 93万尾

事 業 主 体 対象角種 事 業 費 助成金額

147万尾

149万尾

- 民間施設 14万尾 - 10万尾 「羽 幌 14万尾 10万尾 民間施設 23.7万尾 - 17万尾 寿 都 16 万尾 12万尾` 知 内 7.7万尾 5万尾」

栽培漁業振興事業実施計画

〔30mm種苗〕

(単位:千円)

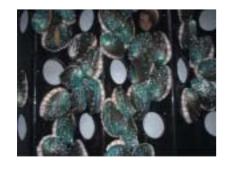
4 栽培漁業振興事業 (種苗生産等支援助成事業)

地域の協議会等が実施する種苗 生産、中間育成、放流等の事業に 対して、振興基金運用益から助成 を行います。



5 アワビ種苗生産事業

現在育成中の16年産種苗と17 年に採苗する種苗の育成管理に当 たり、16年産25mm種苗19万7千 個と30mm種苗87万1千個の合計 106万8千個及び17年産20mm種 苗43万個の総計149万8千個を 供給します。



	事業主体	対象魚種	事 業 費	助成金額
ひやま漁業 協 同 組 合 / 2,072 4,146 2,072 びやま漁業 協 同 組 合 / 準軽減地域水産人工種苗育成供給連絡協議会 欠ツカワ (大っ渡 漁業 振興推進協議会 アッカワ (大っ変) (大っ	寿都町漁業協同組合	クロソイ	2,936	1,463
	島 牧 漁 業 協 同 組 合	マゾイ	1 146	2 072
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会 噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会 マツカワ スタハタ スタリカワ ハタハタ クロソイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレ		クロソイ	, 4,140	2,072
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会 クロソイマツカワ スタハタクロソイマッカワ スタハタクロツイマガレイマッカワ エゾボラマツカワ カロツイマガレイマッカワ エゾボラマッカワ エゾボラマッカワ スタハタクロツイマガレイマッカワスタスタクロツイマガレイスがボラマッカワハタハタクロツイマガレイエゾボラート 勝管 内 裁	ひ や ま 漁 業 協 同 組 合	クロソイ	4,915	
噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会 マツカワ ハタハタ クロソイ アガレイ アガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガレイ マガルク カワ エゾボラ マツカワ エゾボラ マツカワ エゾボラ スタハタ カロソイ エゾボラ マッカワ ハタハタ クロソイ エゾボラ スタハタ カロソイ エゾボラ スタハタ カロソイ エゾボラ スタハタ カロソイ エゾボラ スッカワ スタハタ クロソイ エゾボラ スターロソイ エゾボラ スターロソイ エゾボラ スティー エゾボラ スティー エジン スターロソイ エゾボラ スティー エゾボラ スティー エゾボラ スティー エゾボラ スティー エリカロ 漁業 協 同 組 合 ロリソイ スターロリイ スターロリイ スターロリイ スターロリイ スターロリイ スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー	津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	クロソイ		
ひだか漁業協同組合 マッカワハタハタクロソイ 三石町栽培漁業推進協議会 1,067 三石町栽培漁業推進協議会 1,067 方口リイマガレイマツカワエゾボラマツカワなり、カタハタクロソイマカカワスがボラマツカワハタハタクロソイマガレイエゾボラマッカワハタハタクロソイエゾボラマッカワハタハタクロソイエグボラマッカワハタハタクロソイエがボラート勝管内栽培漁業推進協議会やカロリイエがボラート 1,587 表りも町栽培漁業推進協議会や大津漁漁業協同組合会が高端会がある。 3,072 日布森漁業協同組合会がよ漁業協同組合会派中漁業協同組合会派中漁業協同組合会派中漁業協同組合会が大サキガニ資源維持着大対策連絡協議会和変管内表対企業を運営委員会和変管内裁培漁業推進協議会の表別の方のの方のの表別の方のの方のの方のの表別の方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方のの方の	噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	クロソイ	7,380	3,690
三 石 町 栽 培 漁 業 推 進 協 議 会			4,495	2,996
三 石 町 栽 培 漁 業 推 進 協 議 会 クロソイマガレイマガレイマガレイマガレイマガレイマガレイマガレイマガルカワエゾボラフスタカワスタークロソイスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワスカワス	ひ だ か 漁 業 協 同 組 合			
三 石 町 栽 培 漁 業 推 進 協 議 会			6,356	3,541
カース			J	
マガレイ マツカワ エゾボラ 1,067 571 マツカワ エゾボラ 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 854 1,587 1,587 854 1,587	三石町栽培漁業推進協議会			
浦 河 漁 業 協 同 組 合 マツカワ スゾボラ マツカワ ハタハタ ス エゾボラ スカワ ハタハタ カワ ハタハタ カワ ハタハタ カワ ハタハタ カロソイ マガレイ エゾボラ マツカワ ハタカワ カロソイ エゾボラ マッカワ カロソイ エゾボラ カロソイ エゾボラ カロソイ オー カロリカワ カロリカロ 1,414 707 マッカワ カロリカロ 1,600 500 エーシン 778 389 厚岸 漁 業 協 同 組 合 ニーシン 427 205 根 室 市 ハナサキガニ 資源維持増大対策連絡協議会 カナサキガニ 資源維持増大対策連絡協議会 ロー 漁 業 協 同 組 合 マガレイ カロリカワ 1,655 1,103 マガレイ カロリカワ 1,655 1,103 マガレイカロリカー 1,716 815 マナマコ ホッカイエビ カロリオー ス201 1,105 地 1,716 815 902 アフリカロリカー 1,716 902				
浦 河 漁 業 協 同 組 合 マツカワ			1,067	571
# 河 漁 業 協 同 組 合 マツカワ 7 854 854 854 854 854 854 854 854 854 854				
様 似 町 水 産 振 興 協 議 会 マツカワ ハタハタ カワハタハタ カワハタハタ クロソイマガレイエゾボラ マツカワハタハタ クロソイエゾボラ マツカワカロ カロリイ エゾボラ マツカワカロ カロリイ マツカワカロ カロリイマツカワカロツイス は 協 局 組 合 ニシン 778 389 厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニシン 778 389 厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニシン 427 205 根 室 筋 同 組 合 ニシン 427 205 根 室 内 北 が			J 	
えりも町栽培漁業振興協議会 ハタハタ			600	400
えりも町栽培漁業振興協議会 マツカワ ハタハタ クロソイ マガレイ エゾボラ マツカワ ハタハタ クロソイ エゾボラ マツカワ 1,530 1,000 大 津 漁 業 協 同 組 合 クロソイ マツカワ クロソイ 1,414 707 マツカワ クロソイ 日本 第 協 同 組 合 ニシン 778 389 厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニシン 1,000 500 浜 中 漁 業 協 同 組 合 ニシン 427 205 根 室 店 内 組 合 ニシン 427 205 根 室 官 内 栽培漁業指準大対策連絡協議会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 アツカワ 1,655 1,103 アガレイ クロソイ アガレイ クロソイ オーカー 1,716 815 テ 谷 漁 業 協 同 組 合 マナマコ ホッカイエビ カロソイ 1,716 815 年 ジン クロソイ アナマコ ホッカイエビ コ・シン クロソイ アナマコ ホッカイエビ 1,105 902	禄 似 則 水 産 振 興 協 議 会			
えりも町栽培漁業振興協議会 マツカワ ハタハタ クロソイ マガレイ エゾボラ マツカワ 1,530 1,000 大 津 漁 業 協 同 組 合 クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マッカワ クロソイ マッカワ クロソイ マッカワ クロソイ ス 第89 厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニ シ ン 778 389 厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニ シ ン 427 205 根 室 市 内 報 業 協 同 組 合 ニ シ ン 427 205 根 室 管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 ス ツカワ 1,655 1,103 アガレイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソ			1,587	854
十勝管内栽培漁業推進協議会 大津漁業協同組合 別路市漁業協同組合 早岸漁業協同組合ニシン 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内未培漁業協同組合 根室管内裁培漁業推進協議会 根室管内裁培漁業推進協議会 程室管内裁培漁業推進協議会 程室管内裁培漁業推進協議会 程室管内裁培漁業推進協議会 規工会員 1,530 200 1,414 707 200 200 200 200 200 200 200 200 200	N 26 of 189 31 All 180 31 Of 180 180 A		J	
十勝管内栽培漁業推進協議会 フロソイエゾボラフッカワカワクロソイコ、1,530 1,000 1,414 707 計路 市漁業協同組合会のロソイ銀の方力のクロソイ銀の方力のクロソイ銀の方力のクロソイのロソイ型のロソイ型のロソイ型のロソイ型のロソイ型のロソイ型のロソイ型のロ	えりも町栽培 黒 兼 振 興 脇 譲 会			
十勝管内栽培漁業推進協議会 マッカワ 1,530 1,000 大津漁業協同組合 クロソイ 1,414 707 釧路市漁業協同組合 2 マッカワ クロソイ 1,800 昆布森漁業協同組合 ニシン 778 389 厚岸漁業協同組合 ニシン 1,000 500 浜中漁業協同組合 ニシン 427 205 根室海域ハナサキガニ資源維持増大対策連絡協議会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内裁培漁業推進協議会 アッカワ 1,655 1,103 報 百漁業協同組合 マナマコホッカイエビ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ クロソイ フナマコホッカイエビ コーカー 1,716 815 第 協同組合 アナマコホッカイエビ コホッカイエビ コーカー 1,805 増 毛 町 ニシン クロソイ フナマコ ホッカイエビ コーカー 1,805 増 毛 町 ニシン クロソイ マナマコ ホッカイエビ コーカー 1,805 増 毛 町 ニシン クロソイ マナマコ ホッカイエビ コーカー 1,805 1,805 902		1	F 000	0.107
十勝管内栽培漁業推進協議会 エゾボラ フッカワ 1,530 1,000 大津漁業協同組合 クロソイ 劉 路 市漁業協同組合			5,936	3,187
十勝管内栽培漁業推進協議会 マツカワ カワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マッカワ カワ カ				
大 津 漁 業 協 同 組 合 クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ マツカワ クロソイ スロソイ スロリイ スロリイ スロリイ スロリイ スロリイ スロリイ スロリイ スロリ	1. 赚 答 由 卦 拉 淬 类 批 堆 朸 蓬 众		1 520	1 000
釧 路 市 漁 業 協 同 組 合 マツカワ クロソイ				
昆布森漁業協同組合ニシン 778 389 厚岸漁業協同組合ニシン 1,000 500 浜中漁業協同組合ニシン 427 205 根室海域ハナサキガニ資源維持増大対策連絡協会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 程室管内ニシン種苗生産運営委員会 展室管内 栽培漁業推進協議会 アツカワ 1,655 28,013 7,000 根室管内 栽培漁業推進協議会 7,000 マツカワ 7,000 1,716 815 宗谷漁業協同組合 7,000 マガレイ クロソイ 7,000 1,716 815 宗谷漁業協同組合 7,000 マガレイ 7,000 1,716 815 京谷漁業協同組合 7,000 マガレイ 7,000 1,716 815 京谷漁業協同組合 7,000 マガレイ 7,000 1,716 815 中 1,000 1,716 815 マナマコ 8,000 1,105 1,105 中 1,000 1,805 902 東京 1,800 902 東京 1,800 902		1.	1,414	101
昆布森漁業協同組合品 二シン 778 389 厚岸漁業協同組合品 二シン 1,000 500 浜中漁業協同組合品 二シン 427 205 根室海域ハナサキガニ資源維持増大対策連絡協議会根室管内ニシン種苗生産運営委員会根室管内ニシン種苗生産運営委員会根室管内 栽培漁業推進協議会マツカワコト,655 28,013 7,000 根室管内 栽培漁業推進協議会平ツカワコ会がレイクロソイ会のロソイ会のロソイ会のロソイ会のロソイ会のロソイ会のロソイ会のロソイ会の	到 时 中 庶 未 伽 円 租 口		3,072	1,800
厚 岸 漁 業 協 同 組 合 ニ シ ン 1,000 500 浜 中 漁 業 協 同 組 合 ニ シ ン 427 205 根 室 市 ハナサキガニ 3,979 1,989 根室簿内ニシン種苗生産運営委員会 ハナサキガニ 441 220 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 ニ シ ン 28,013 7,000 根室管内栽培漁業推進協議会 マツカワ 1,655 1,103 羅 臼 漁 業 協 同 組 合 マガレイ クロソイ マガレイ クロソイ マナマコ ホッカイエビ サマコ ホッカイエビ オッカイエビ チャフコ 2,210 1,105 増 毛 町 ニ シ ン クロソイ マナマコ オッカイエビ チャフコ 1,805 902 マナマコ 1,805 902	見 布 杰 海 娄 協 同 組 会	-	J 778	380
浜 中 漁 業 協 同 組 合 ニ シ ン				
根 室 市 ハナサキガニ 3,979 1,989 根室海域ハナサキガニ資源維持増大対策連絡協議会 ロナサキガニ 220 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 ニシン 28,013 7,000 根室管内 栽培漁業推進協議会 マツカワ 1,655 1,103 マガレイ クロソイ				
根室海域ハナサキガニ資源維持増大対策連絡協議会 根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内 栽培漁業推進協議会 羅 臼 漁業協同組合 宗 谷漁業協同組合 理 毛 町 ニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニシン クロソイトーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ				
根室管内ニシン種苗生産運営委員会 根室管内 栽培漁業推進協議会 羅 臼 漁 業 協 同 組 合 マガレイ クロソイ				
根室管内栽培漁業推進協議会 マツカワ マガレイ クロソイ				
羅 白 漁 業 協 同 組 合 マガレイ クロソイ クロソイ タロソイ タロソイ タロソイ タロソイ タロソイ ター・マナマコ ホッカイエビ サー モ サー ニ シ ン クロソイ マナマコ タロソイ マナマコ タロソイ マナマコ タロソイ マナマコ タロソイ マナマコ タロシー・マー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー				
宗 谷 漁 業 協 同 組 合 クロソイ		l .	1	
宗 谷 漁 業 協 同 組 合 マナマコ ホッカイエビ コー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー			1,716	815
増 毛 町 ニシン クロソイ マナマコ 1,105	宗 谷 渔 業 協 同 組 合	1	, 1	
増 毛 町 ニシン クロソイ 1,805 902 マナマコ	71. I N. 74. III 1-4 VIII II		2,210	1,105
クロソイ 1,805 902 マナマコ	増 毛 町	l .]	
マナマコ			1 805	902
] 1,000	002
i ii iii ii	合 計 24団体	10魚種	92,478	41,476

アワビ種苗本年度供給計画

(単位:千個)

				(4-12.1 12)
殻長区分	20mm	25mm	30mm	計
16年産		197	871	1,068
17年産	430			430
計	430	197	871	1,498

6 ウニ種苗生産事業

エゾバフンウニは、現在育成中の平成16年産種苗及び平成17年に採苗する種苗の育成管理に当たり、16年産5mm種苗262万個と10mm種苗19万3千個の合計281万3千個、及び17年産5mm種苗224万個の総計505万3千個を供給します。

また、キタムラサキウニ種苗については16年産5 mm種苗110万個を供給するとともに、平成18年に供給する123万5千個の採苗を行い育成管理します。

エゾバフンウニ付着期の幼生は300万粒を供給します。

また、アワビモ7,500枚を供給します。

エゾバフンウニ種苗本年度供給計画

(単位:千個)

			(1 124 1 1147
殼径区分	5mm	10mm	計
16年産	2,620	193	2,813
17年産	2,240	0	2,240
計	4,860	193	5,053

7 調査設計事業

調査設計事業の実施方針

次の基本的な考え方を、公社の調査設計事業の実施方針とします。

- 1 公社は、全道の漁業協同組合と沿海市町村を会員としている公益法人団体であることから、その基本的なスタンスは、漁業者の視点に立って考えます。
- 2 受託事業については、精度の高い調査と公正な 判断による高品質な報告書を作成するとともに、 漁業環境の保全と漁業影響を防止するための考え 方を提言します。
- 3 公社は、事業実施者と漁業者との間にあって、 問題の解決に向けての調整と提言を行います。

平成17年度調査設計事業受託見込み

平成17年度の調査設計事業は、事業規模見込みを 受託件数58件、受託金額660,000千円とします。

平成17年度 事業執行方針と重点目標

平成17年度の調査設計事業については、社会的、 経済的条件から非常に厳しい状況になるものと考え られ、新たな考え方と執行体制の下に、充実した事 業の展開を図っていくこととします。

- 1 管理室業務の拡充と執行体制について
 - ・調査設計部の管理・運営に係わる全ての業務を 総括管理し、調査設計部の管理・運営に係わる 施策提言を行います。
 - ・管理室は4人体制とし、業務の分担を明確にし、 一体となって業務を執行する体制を確立します。
- 2 スタッフ制の導入について
 - ・長期にわたって継続し、事業規模も大きく、公 社にとって重要な業務については、スタッフ制 を導入して、調査業務の効率的な実施と精度の 向上をはかります。

8 クロソイ種苗生産事業

クロソイを対象とした栽培漁業を実施する会員からの要望により30mm種苗を生産し、配付します。本年度は、30mm種苗54万2千尾を生産し、要望先へ供給します。

クロソイ種苗の要望先一覧表

要	望	先	尾 数
増	毛	町	10,000
寿 都	町漁業協同	引組 合	92,000
島牧	漁 業 協 同	組合	20,000
ひゃき	ま漁業協同	引組 合	100,000
津軽海峡地	域水産人工種苗育成供給	給連絡協議会	70,000
噴火湾渡	島海域漁業振興対	计策協議会	150,000
三石町	栽培漁業推進	協議会	5,000
大 津	漁 業 協 同	組合	10,000
釧路	市漁業協同	引組 合	15,000
東しゃこたん	漁業協同組合クロソイネ	事中養殖部会	20,000
室蘭	漁 業 協 同	組合	50,000
	合 計		542,000

772 ESPN

いぶり噴火湾漁協虻田女性部長 内海 光子さん

♥女性部の手作り製品を

合併組合のいぶり噴火湾には五つの女性部があります。役員同士は顔を合わせる機会もありますが、女性部全員で交流してみましょうと、去年の2月と今年の3月に『マリンスクール』を開催しました。各部長と役員で120人分ほどのオードブルを作り、講演会の後にカラオケなどをして親睦を深めました。皆が顔見知りになるというのは、お互い頼み事もしやすくなりますし、物事を円滑に進めるには一番良い事だと思います。

虻田女性部の活動もいろいろあります。一年に一度、町民の皆さ

んを呼んでホタテ料理教室を開い ていますが、これは特に続けてい きたい活動の一つです。

去年から研修旅行用に『つもっと』のネーミングで一日100円の 積み立て貯金をしています。来年、 沖縄か京都へ行くつもりです。

しんれんのマリン塾で「人を楽しませ喜ばせる事が人集めのもと」と聞き、8年前からパークゴルフ大会を始めました。女性部が面白いよと宣伝したので、組合でも漁民運動会をパークゴルフ大会に切り替えました。

この春、地場産品センター「あ



ぷた」がオープンしました。女性 部では「ホタテの粕漬け」を製品 化して出すつもりです。その準備 のため去年、中央水試へ行って勉 強してきました。今は粕が手に入 らず、つくる事ができませんが、 秋に粕が手に入り次第、作って出 品する予定です。できれば、秋サ ケのフレークも作りたいと思って いますが、これは未定です。

部長になって来年で10年。この女性部の製品を完成させて、区切りよく後継者に、できればバトンタッチしたいと思っています。







